

2023年2月26日(日) ヤリイカ 豊漁丸

小潮:旧2月7日 満潮 17:51(8cm) 干潮 翌日00:56(-9cm) 敦賀

私 ヤリイカ 3杯 ツレ ヤリイカ 1杯

15時30分 集合、受付 釣り座のくじ

16時30分 出船

17時51分 満潮 (8cm 敦賀)

11時00分 納竿

【仕掛け】

イカメタル

竿 ダイワ エメラルダス X イカメタル 65ULB-S

リール バルケッタBB 200HG PEライン0.5号 200m

竿 ソルパラ イカメタル 鉛スツテ10~30号

リール バルケッタBB 300HGDH PEライン0.5号 200m

→ リーダーはいずれもフロロ3号を1ヒロ

鉛スツテとドロPPERまでの間は1.2m。ドロPPERのハリスは3cm。

オモリグ

竿 ソルパラ オモリグ おもり 12号~40号

リール レガリスLT 4000D-CXH PEライン0.8号 200m

【購入アイテム】

鉛スツテ ヨーヅリ 四ツ目 ブルー夜光レッドイエロー 25号 ¥1,118×2個

鉛スツテ ヨーヅリ 四ツ目 ブルー夜光レッドイエロー 20号 ¥996×1個

ドロPPER デュエル イージースリム 80mm 夜光レッドイエロー ¥835×2個

○豊漁丸HPに赤黄がよいというので購入した。乗船時、「鉛スツテには赤黄がよい。ドロPPERは何でもよい。」とのアナウンスがあった。

○鉛スツテは購入した四ツ目赤黄を使い、ドロPPERはイージースリム赤緑・赤白を使った。

【料金】 船代 ¥13,000 氷付き

【様子】

○天気予報を見て、1週間前に予約した。前日の予想では、曇り、風4mだった。

当日の朝、夕方一時雨との予報に変わった。

○2時30分 事務所前についたとき、かなりの風と波、少し怖いと感じた。

○3時00分 風と波が収まっていった。だんだんと収まるという予想はしていた。

酔い止めを飲んだ。出船1時間30分前である。

○結局、雨は僅かに降った。風は吹いていたが、それよりも、うねりがひどかった。船長から「うねり2mの予報だ」と聞いたが、それ以上あったように思う。白波も立っていた。

○終盤、ツレは酔ってしまった。他の釣り客も酔った人が複数人いた。

○女性がいるグループは、トイレの近くということと、今日は後の方が釣りやすいということで、右舷の方

に座ることになった。

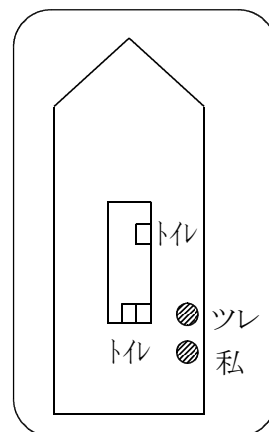
○「鉛スツテは25号。水深88m。底から5mまでを狙ってください。」

○「鉛スツテはHPにもあげたように赤黄がいい。ドロPPERは何でもいい。」とアナウンスがあった。

○日没前は底だろうと考え、自分はオモリグで始めた。オレンジのエギを付けた。



さっそく、イカ刺しとゲンバターで食べた。美味しかった。イカ刺しに添えてあるのは、ふるさと納税で購入したホタテの刺身。



- ツレは、四ツ目赤黄の鉛スツテ25号とイーゼースリム赤緑で始めた。
- 午後8時30分くらいまでは釣れないだろうと思っていた。
- 午後8時頃、同船者が釣った。自分もイカメタルに変えた。鉛スツテには四ツ目赤黄25号を、ドロPPERにはイーゼースリム赤白を付けた。
- 「午後8時30分 これから釣れます。」とアナウンス
- しかし、釣れない。中乗りスタッフさんが隣の方に釣り方をレクチャーしていたので、自分たちにも教えてほしいと頼んだ。
- 教えてもらった釣り方【釣り方1】をした。3杯釣れた。すべてイーゼースリム赤白だった。
- やがて、また、釣れなくなった。
- ツレはしばらく教えたもらった釣り方をやっていたが、酔ったため置き竿にして休んだ。
- この置き竿に掛かった。底で釣れたとのこと。赤黄の鉛スツテに掛かっていた。
- 11時、納竿のアナウンスがあった。
- 翌日のHPに「ベイトがなかなかつかない」と記載があった。

【釣り方1】 中乗りスタッフさんから

※棚は底である。底だけでよい。鉛スツテが着底したら、少しあげて、その場で誘う。

- ①2段シャクリをした後、すぐに竿先を下に向ける。

竿先を下に向けている間は、フリーフォールとなっている。

- ②糸がピンと張ったらカウントする。カウント5で①を繰り返す。

※2段シャクリの代わりに「1回大きくあおる」ということも入れる。

※違和感(当たりらしきもの)があったら、即合わせる。

掛かっていなくても、それが誘いとなる。

【釣り方2】 マイカの釣り方で

ヤリイカは、スルメイカとは異なり、ソフトな誘いで釣るようだ。イカメタルによるヤリイカ釣りはまだ未経験であるので、マイカの誘い方でヤリイカを釣ろうと考え、豊漁丸のマイカ釣りで竿頭になった人の釣り方をまとめ、この釣り方でヤリイカ釣りに挑戦してみた。

(1) 豊漁丸で竿頭になった人の釣り方

(a) ゆっくり大きくあおる

- ①スーッと竿先大きくあおって止める。

- ②ゆっくり竿先を下げてる。

この時、軽くなったり違和感を感じたりしたら、当たりであるので、合わせる。

下げてる途中で止めることもあった。

- ③一番下まで下げたら、少し待つ。

ここで当たることも多かった。

※「②ゆっくり竿先を下げてる」の下げるスピードが遅すぎるのもよくないように思う。

(b) ソフトな誘いとロングステイ

- ①竿を2回あおって、20秒～30秒止める

- ②当たりがなければ、もう一回あおる。少し待つ。ここで当たりがないか、確認する。

- ③当たりがなければ、竿をあおり、竿先を下げながら、3回リールを巻く。(仕掛けを1.5mほど上げることになる。①にもどる。

※これを繰り返す。

(2) 船長・スタッフからのアドバイス

- 船長「マイカはステイでのってくる。」

○スタッフ「ステイで7秒待って当たりがなければ、次の棚に移る。」

→ 中乗りスタッフさんに釣り方を教えてもらうまで、この釣り方をしたがダメだった。

しかし、翌日のHPに「ベイトがなかなかつかなかった」と記載があったことから、この釣り方が合わないというよりヤリイカがいなかったのではないだろうか。

【防寒対策】

○カイロを足裏と背中に貼った。

○靴下、レッグウォーマー、防寒ブーツ、防寒着

○防寒着の下にたくさん着込んだ。

○天気予報では午後8時まで雪マークが少し入っていたので、防寒着の上にズボンだけカッパを履いた。カッパの上着は簡単に着られるが、ズボンは難しいので初めからはいておくことにした。これが良かったと思う。足回りで寒いと思うことはなかった。

○風が顔に当たると冷たいが、全体として寒いと感じたことはなかった。

【次回に向けて】

○ヤリイカ・マイカ釣りでは、3つの【釣り方】を試す。

○鉛スッテ・ドロッパーの組み合わせは、赤白、赤緑に赤黄を織り交ぜる。

○ヤリイカの棚は底でよい。